

事業名	環境管理諸費		
細事業名	桂川・相模川流域協議会経費	財務コード	221206
担当部課室	森林環境 部 森林環境総務 課 育水・環境活動推進 担当 (内線) 6092		

調書番号	64
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 H10 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(桂川・相模川流域協議会)		
目的	だれ(何)を対象に 桂川・相模川流域協議会	その対象をどのような状態にして 県として同協議会の環境保全活動に参加するとともに、県として自主的・主体的な事業を展開する。	結果、何に結びつけるのか 桂川・相模川流域の環境保全
	内容 ①クリーンキャンペーン …桂川・相模川流域の各地域でのゴミ拾い等 ②上下流交流事業 …山梨、神奈川県両県の市民の交流事業 ③流域シンポジウム …環境保全に関する講演会や事例発表などを行うシンポジウム ④その他(会報誌の発行など)		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	クリーンキャンペーン実施箇所数	目標	30	30	30	30	30	30
		実績(見込)	36	31	33	35	29	30
		達成率	120.0	103.3	110.0	116.7	96.7	100.0
		達成区分	a	b	b	b	b	b
成果指標	クリーンキャンペーン参加者数	目標	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
		実績(見込)	40,949	35,728	40,659	35,405	33,836	35,000
		達成率	117.0	102.1	116.2	101.2	96.7	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		608	608	608	608	608	608	608

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	予定通りの活動実績があった。
成果指標	b		意図した成果を十分に挙げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	新たな環境問題であるプラスチックごみ対策を強化することで、事業の成果向上が見込める。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	<input type="checkbox"/> マイクロプラスチックによる海洋汚染を防ぐため、プラスチックごみ対策を強化する必要がある。 <input type="checkbox"/> 現在、県が、本協議会及び下部組織である2つの地域協議会全てにおいて事務局を担っているが、市民と行政の事務分担の適正化の観点から、実施体制を見直す必要がある。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	<input type="checkbox"/> 他の環境活動団体等と連携し、プラスチックごみ対策のための取り組みを推進する。 <input type="checkbox"/> 2つの地域協議会について、実施体制の見直しに向けた調整を行う。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。